

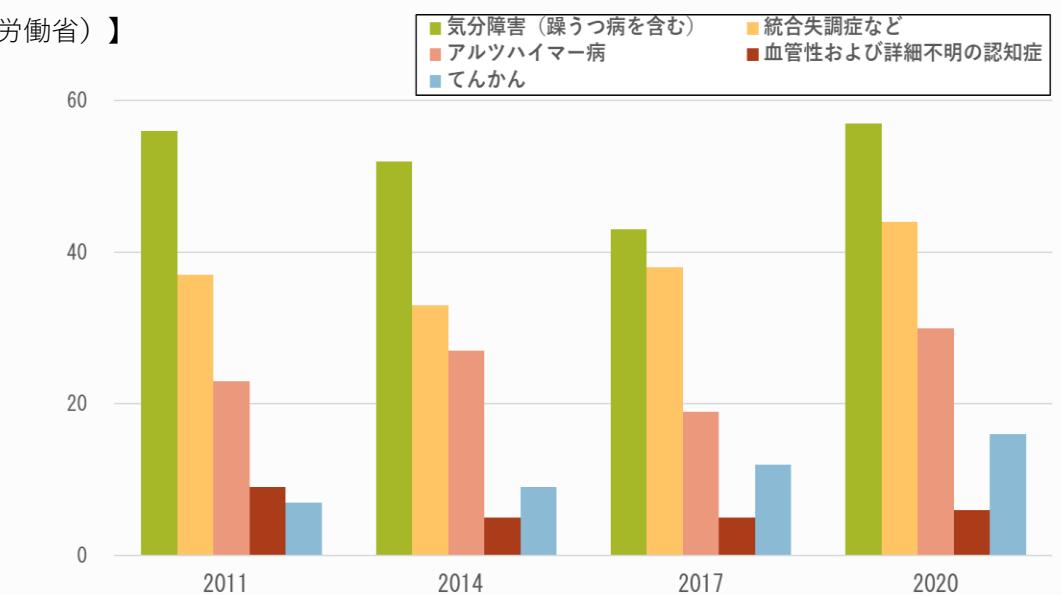
精神疾患にかかる現状

患者数

◆北海道における精神疾患等の患者数（札幌市のみデータのなし）【出典：患者調査（厚生労働省）】

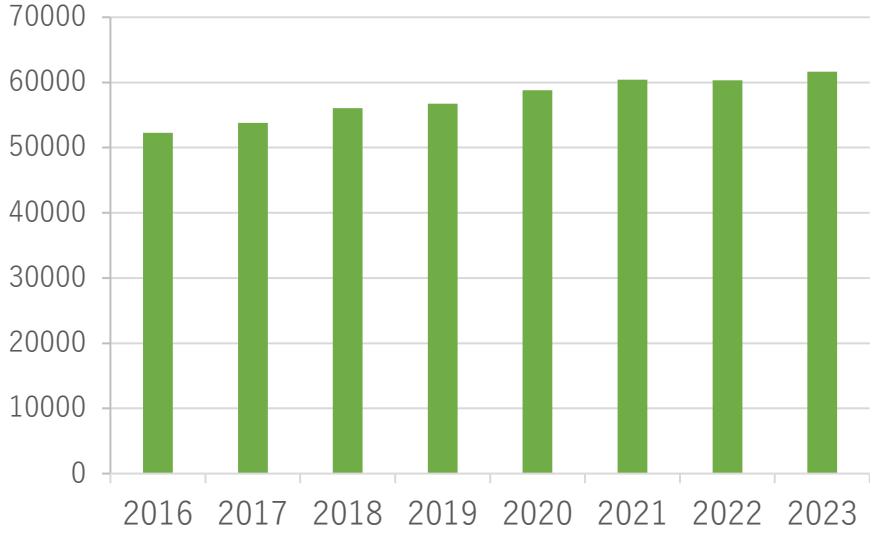
傷病分類	2011年	2014年	2017年	2020年
総患者数（※）	176	175	174	262
V 精神及び行動の障害	145	136	142	217
統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	37	33	38	44
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	56	52	43	57
血管性及び詳細不明の認知症	9	5	5	6
アルコール使用＜飲酒＞による精神及び行動の障害	5	5	2	3
その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3	3	0	2
神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	31	33	31	32
その他の精神及び行動の障害	5	8	24	72
VI 神経系の疾患	-	-	-	-
アルツハイマー病	23	27	19	30
てんかん	7	9	12	16

※厚生労働省「患者調査」による「V精神及び行動の障害」の総患者数から、「知的障害＜精神遅滞＞」の総患者数を引き、「アルツハイマー病」「てんかん」の総患者数を加えたもの。



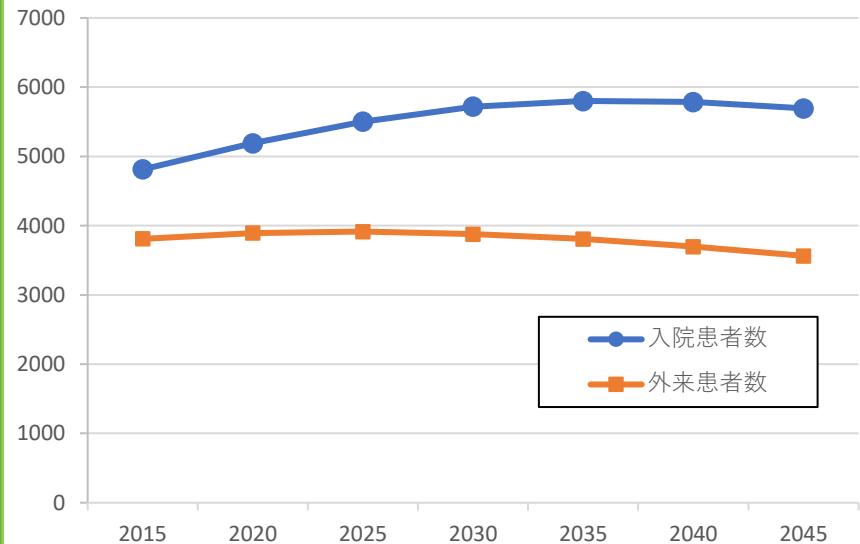
- 精神疾患の総患者数は2020年調査で増加
- 躁うつ病を含む「気分（感情）障害」や「統合失調症等」の割合が多い。

患者数（認知症）



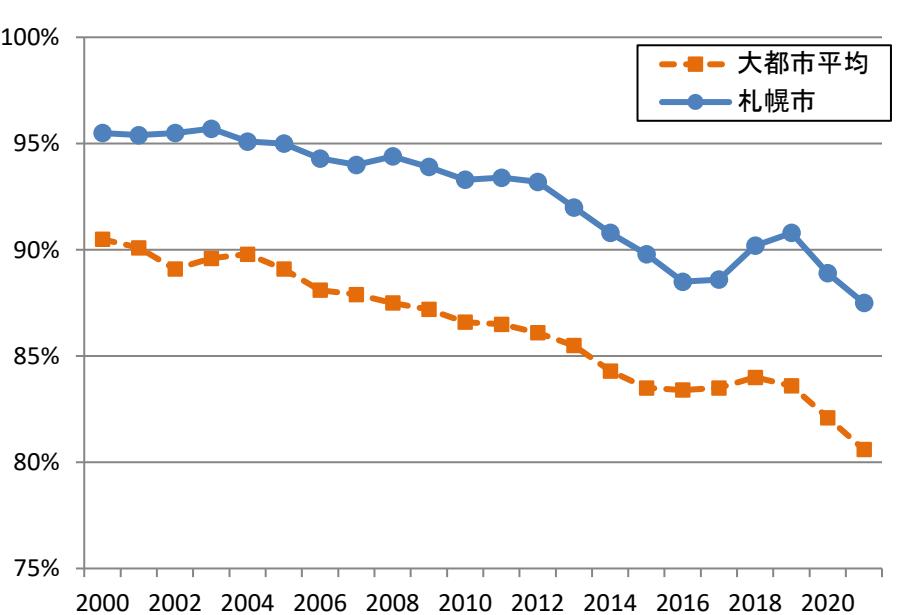
- 札幌市における認知症の患者数は年々、増加傾向

推計患者数



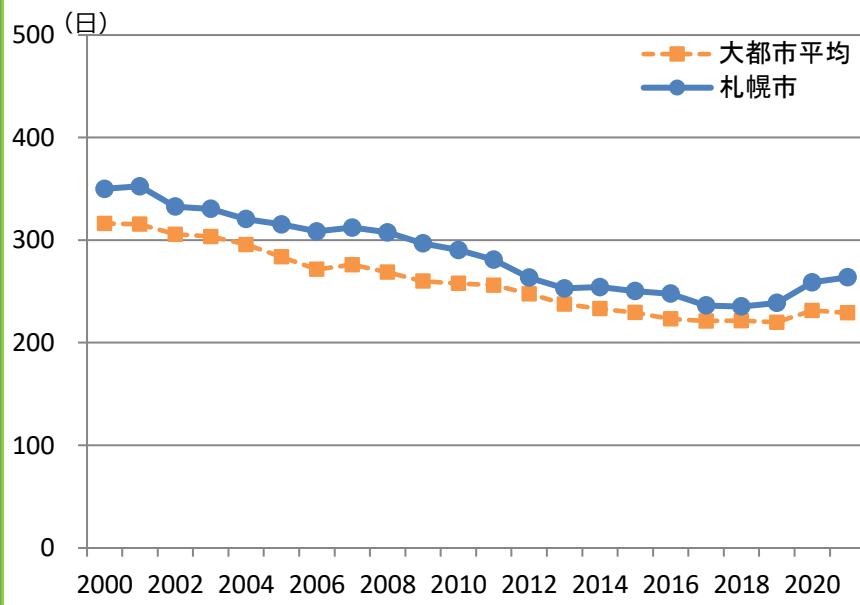
- 入院患者数は2035年頃まで増加の見込み。
- 外来患者数は減少の見込み。

精神病床利用率



- 精神病床の利用率は近年、減少傾向
- 大都市平均と比較して病床利用率は高い。

精神病床の平均在院日数



- 平均在院日数は近年減少傾向だが'21~'22は増加
- 大都市平均と比較日数は長い。